

船舶事故等調査報告書

平成27年7月23日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第179号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年10月1日 05時30分ごろ
発生場所	山口県徳山下松港 徳山下松港新川防波堤灯台から真方位234°4,700m付近 (概位 北緯33°58.67' 東経131°49.24')
事故等調査の経過	平成26年10月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 えびす丸、1.65トン
船舶番号、船舶所有者等	YG3-39965（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	船首部船底に亀裂を伴う凹損、プロペラに曲損等
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、船首約0.4m、船尾約0.6mの喫水により、平成26年10月1日05時20分ごろ山口県周南市大島半島の係留地を出発し、同市黒髪島南方沖の漁場に向かった。 本船は、船長が手動操舵に当たり、約13ノットの対水速力で大島半島沖を陸岸に寄って南東進中、05時30分ごろ大島半島鍋尻岬北東方沖の岩場に乗り揚げた。 船長は、錨を投入した後、海上保安庁へ118番通報した。 本船は、潮位の上昇を待つて自力で離礁し、来援した僚船により係留地までえい航された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期、潮高 約97cm（徳山） 日出時刻：06時07分ごろ
その他の事項	船長は、大島半島鍋尻岬周辺に岩場が存在することを知っていたが、正確な位置までは知らなかった。 船長は、日出までに黒髪島南方沖の漁場に到着したいと思い、ショートカットをして大島半島の陸岸寄りを航行していた。 本船には、レーダー及びGPSプロッターはなかった。 船長は、本事故当時、救命胴衣を着用していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象等の関与	なし

<p>判明した事項の解析</p>	<p>本船は、大島半島沖を南東進中、船長が、大島半島鍋尻岬周辺に岩場が存在することを知っていたものの、日出までに漁場に到着したいと思い、ショートカットをして陸岸寄りを航行したことから、鍋尻岬北東方沖の岩場に接近し、同岩場に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、大島半島沖を南東進中、船長が日出までに漁場に到着したいと思い、ショートカットをして陸岸寄りを航行したため、鍋尻岬北東方沖の岩場に接近し、同岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に海図などにより航行する海域の水路状況を調査しておくこと。</li> </ul>